

【施策別総括表の見方】

【選定区分】
 A: 基本事務事業の代表事業
 B: 実施計画事業
 C: 予算案記者発表時重点事業

【事務事業の目的】
 事務事業を実施して実現しようとしていること

【施策番号・施策名】
 事務事業の上位施策となる長期計画(平成22年度～26年度)の施策番号と施策名

【評価】
 〔①成果〕 主に成果指標の達成率から評価
 A: 達成 B: 80%以上達成 C: 80%未満
 〔②効率性〕 主に経費面における効率性の評価
 A: 効率性が高い B: 効率性が低い
 〔③必要性〕 区が事務事業を行う必要性についての評価
 A: 必要性が高い B: 必要性が低い
 〔④総合評価〕 上記各評価に加え公平性・公正性を含めた総合的な評価
 A: 良好に進んでいる B: 良好に進んでいない

平成24年度 事務事業評価 施策別総括表 【施策番号: 111 施策名: 地域で子育てを支える】

事務事業番号	選定区分	事務事業名	事務事業の目的	成果指標・経費		単位	22年度	23年度	24年度	26年度	事業区分	実施体制	協働事業	評価				前年度改善状況	今年度以降の改革・改善案	方向性の	担当課
				実績	実績		目標	目標	①成果	②効率性				③必要性	④総合評価						
1	A	医療費助成事務	保護者の負担を軽減するとともに、子どもの健やかな育成に寄与し、もって児童福祉の推進を図るため。	成果指標 子ども医療費の助成件数	件数	1,518,764	1,619,765	1,552,145	1,552,145	A	B	非該当	①成果	医療費の一部助成をすることで、保護者の負担軽減がなされ、保健の向上、福祉の増進ができています。	A	①福祉情報システムの再構築を行い、事務の効率化に努める。 ②一部業務委託の拡大について検討を進める。	B	子育て支援課			
					達成率	100.3	110.4	—	—				A	②効率性					医療証データの入力、封入、発送など業務の一部委託を実施するとともに、福祉情報システムの利用により住民記録に連動した正確かつ迅速な事務処理が行われ、効率化が図られている。		
				経費	総経費	千円	3,169,736	3,477,596	3,365,680	—	A	③必要性	児童は医療を受ける回数が多く、医療費助成による子育て家庭の支援の必要性は高い。								
					上記のうち人件費	千円	40,000	40,000	40,000	—		A	④総合評価	子育て家庭のニーズは高く、子育て支援の重要な施策として今後も継続する。							

【成果指標】
 事務事業を実施したことによる成果(事務事業の目的の達成状況を測定するモノサシ)
【経費】
 22・23年度は決算額 24年度は予算額
 総経費は事業費と人件費の合計
 人件費は正規職員一人当たり800万円で算出
 再任用職員は400万円(正規職員0.5人分で換算)
 再雇用職員は320万円(正規職員0.4人分で換算)

【事業区分】
 A: 自治事務
 B: 法定受託事務
【実施体制】
 A: 区職員(直営)
 B: 一部業務委託
 C: 全部業務委託(指定管理含む)

【協働事業】
 該当: 次の①～③の協働の形態に該当するもの
 ①区民が主導し、区が支援するもの
 ②区民と区がそれぞれの主体性の下に連携、協力して実施するもの
 ③区が主導し、区民の参加を得ながら行うもの

【前年度改善案達成状況】
 平成23年度評価で掲げた改革・改善案の達成状況
 A: 達成 B: 一部達成 C: 未達成
 「—」: 前年度改革・改善案または評価表が無いもの
【今年度以降の改革・改善案】
 今回の評価結果を踏まえた今後の改革・改善案の内容
【事業の方向性】
 A: 拡大 B: 継続 C: 縮小 D: 廃止 E: 休止 F: 完了

【担当課】
 事務事業を担当する課名を表示